

温かい真心をありがとうございます

下記の方々から、本会に寄付金をいただきました。温かい真心に感謝申し上げます。

(平成27年9月現在)

平成27年7月17日 株式会社河北新報社さまより
社会福祉のために…………… 66,219円

交通海難労災遺児へ…………… 9,252円

平成27年8月7日 株式会社ブリッジさまより
社会福祉事業のために…………… 58,120円

平成27年9月9日 株式会社ブリッジさまより
社会福祉事業のために…………… 53,310円

<関東・東北豪雨災害に関する支援金>

平成27年9月18日 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会さまより…………… 100,000円

平成27年9月18日 コープこうべ災害緊急支援基金運営委員会さまより…………… 500,000円

第23回宮城シニア美術展開催！！

期 間：11月19日(木)～22日(日)
時 間：午前10時～午後4時30分(最終日は午後3時)
会 場：宮城県美術館 県民ギャラリー
(仙台市青葉区川内元支倉34-1)
展示作品：県内在住の60歳以上のアマチュアの方による作品
(日本画・洋画・書・写真・工芸)を展示
入 場 料：無料
問い合わせ：宮城県社会福祉協議会 いきがい健康課
☎022(223)1171

福祉施策及び東日本大震災に係る復興支援等に対する要望書を提出

本会では宮城県内の福祉関係団体から要望を取りまとめ、平成27年8月21日に宮城県保健福祉部社会福祉課に対し、国及び宮城県に対する要望書を提出しました。要望事項については、回答が届き次第、ホームページなどで報告します。

オススメ製品の紹介

NPO法人みやぎセルフ協働受注センターでは、働く障害者の方々に支援しています！
URL <http://www.miyagi-selp.org>
f <http://www.facebook.com/miyagiselp>

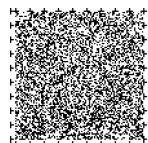
県内の障害者就労支援事業所で作るオススメの製品を紹介します。

◆ 冷凍餃子

利用者さんがまごころ込めて一つ一つ作った「まごころ餃子¥380」「まごころみそ餃子¥430」「まごころ牛タンみそ餃子¥480」の3種類がございます。ジューシーなお肉と野菜のシャキシャキ感がマッチしてご飯の共にぴったりです。冷凍のまますぐに焼けますので忙しい主婦の皆さんにも大好評。全国発送も承っております。また、お花では冬の生活を彩るシクラメンも11月より販売いたします。お歳暮など贈り物に是非ご利用ください。



社会福祉法人 太陽の丘福祉会 仙台ローズガーデン
〒981-3215 仙台市泉区北中山4丁目26-18 TEL/022-376-1187 FAX/022-376-1193
✉ taiyounookafukusikai@crux.ocn.ne.jp ホームページ：www.s-rosegarden.com



復興宮城のいま

「スマイル体操」で

健康づくりと住民交流の場へ

名取市社会福祉協議会

宮城県の南部、仙台市に隣接する名取市は東日本大震災では沿岸部に大きな被害を受け、現在も多くの方が仮設住宅で生活をしています。名取市協が運営する「なとり復興支援センターひより」では、生活支援相談員が市内の応急仮設住宅に常駐し、被災住民の方々からの相談対応、仮設住宅自治組織との連絡調整、各世帯への個別訪問、集会所でのボランティア受入などのサポートを行っています。

名取市の東部にある下増田の美田園地区には、防災集団移転促進事業により美田園北団地が造成され、復興公営住宅が完成しました。仮設住宅から転居する方々が増えてくる中、「仮の住まい」である仮設住宅から公営住宅など「地域での生活」に戻ってからも、体操の習慣を継続



▲「い〜ち、に〜い…」体操インストラクターのNOBU高橋さんの掛け声に合わせて、笑顔で体操に取り組みます。

し健康に生活をしてほしい。さらには応急仮設住宅やみなし仮設住宅、復興公営住宅、元からこの地域に住んでいる方々など、住む場所に関係なく皆に参加してもらい、一緒に体操をすることで、地域住民の交流の機会となれば…という思いから、復興支援センターひよりのコーディネーターが中心となり、これまで関わってきた体操インストラクターや地域の協力を得て、「スマイル体操」という名称で立ち上げることができました。

本村下区での「スマイル体操」には、毎回20名以上の参加者が集まります。体操インストラクターの楽しい指導と、継続すると肩こりや腰痛の解消などだんだんと良い効果が表れてくるという説明に、参加している皆さんも興味津々に聞き入っています。また休憩時間や終了後のお茶会では、久しぶりの再会で話が盛り上がる方、先生に体操のコツを聞く方など、賑やかに過ごされています。住民が集まる場を住民自ら関わり営む活動を通じて、地域住民の交流が深まり、しいては地域の「再構築」につながっていくものと期待しています。(寄稿)



▲体操終了後のお茶会の様子。参加者、委員、社協職員が参加し、にぎやかにおしゃべりを楽しまします。

で開催しています。開催にあたっては、下増田地区福祉委員会(民生委員やボランティア、行政区长、町内会役員など地域住民でつくられている組織です)に相談し、運営を担っていただくことになりました。【地域の集まりの場(サロン)】を地域の皆さんが運営することで、地域で作り上げていくサロンになり、社協は協働して運営支援をしています。

